



Cisco HyperFlex Systems

Cisco HyperFlex VM ゲストおよび vMotion ネットワークの分散型仮想スイッチへの変換

作成者: Brian Everitt

2016 年 8 月

目次

ソリューションの概要

- 本文書の目的
- ソリューションの目的
- ビジネスにおける課題
- ソリューション
- ソリューションの利点
- ソリューションの要件
- 既知の制約

変換の手順

- 分散型スイッチの作成
- 仮想マシン ゲスト分散型スイッチの設定
- VMotion 分散型スイッチの設定
- 仮想マシン ゲスト分散型スイッチへの移行
- VMware vMotion 分散型スイッチへの移行
- テストとクリーンアップ

まとめ

関連情報

付録 A: 追加の仮想マシン ゲスト VLAN の設定

付録 B: タグ付き VLAN 用の代替設定

概要

VMware は、vSphere 分散型スイッチ (vDS または dvSwitch) 機能を提供し、VMware ESX クラスタにおいて仮想スイッチの一元管理を実現します。ESX 4.0 に vDS が導入されて以来、この機能は多くの仮想化環境で広く採用されています。Cisco HyperFlex™ Systems を初めて起動すると、標準の ESX 仮想スイッチ (vSS または vSwitch) により、シスコのハイパーコンバインド製品のネットワーキング設定が自動的にインストール・設定されます。お客様がライセンスを取得している場合は、vDS を使用する際の一般的な慣行により良く対応できるよう、Cisco HyperFlex のインフラストラクチャをサポートしていないネットワーク (仮想マシン ゲスト ネットワークや VMware vMotion ネットワークなど) の変換が許可されています。これにより、標準の仮想スイッチの代わりに分散型仮想スイッチを使用できます。

ソリューションの概要

ここでは、現在の IT インフラストラクチャの課題を明確にし、解決策とそのメリットの概要を示します。

本文書の目的

本文書では、Cisco HyperFlex クラスタでゲスト ネットワークおよびポート グループを変換し、標準の vSwitch の代わりに vDS を使用方法について説明しています。

ソリューションの目的

Cisco HyperFlex ソリューションは、Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) プラットフォーム上に構築されます。迅速な導入、優れた柔軟性と効率性を魅力的な価格で実現しながら、お客様のリスクも軽減します。ソフトウェアデファインド ストレージ (SDS) プラットフォームには、シスコの実績あるコンポーネントが統合されています。このアプローチによって、計画立案や設定の際に決定しなければならないことが削減される一方で、カスタマイズを通してお客様のワークロード ニーズを満たすこともできます。採用されたプラットフォームと管理モデルは、確立された Cisco UCS データセンター戦略を発展させたものです。この中では、Cisco UCS Manager によるポリシーベースのフレームワークを使用することで、使い慣れたコンポーネントが一貫した方法で管理されています。

ビジネスにおける課題

ESX 仮想化インフラストラクチャでの標準の vSwitch を使用するには、いくつかの課題があります。

- **非効率性:** 標準スイッチは vSphere クラスタの各ホストに 1 つずつ設定する必要があります。設定を変更した場合は、その変更をクラスタの各ホストで繰り返すことで一貫性を保つ必要があります。
- **不整合:** 複数の標準スイッチで設定が異なる可能性があります。その場合は設定エラーが発生し、仮想マシンがホスト間で移行できなくなる可能性があります。
- **機能の不足:** 標準 vSwitch には、大規模な次世代環境で必要とされる機能が不足しています。

ソリューション

Cisco HyperFlex のコア インフラストラクチャをサポートしていないネットワークでは、標準 vSwitch の代わりに vDS を使用するよう Cisco HyperFlex Systems を変換できます。

ソリューションの利点

このソリューションは、次のようなメリットをお客様に提供します。

- **シンプル化:** vDS は、VMware vCenter に 1 回設定すると、vSphere クラスタのすべてのホストが接続され、その設定が継承されます。

- **一元管理**: vCenter から設定を変更すると、すべてのホストが同時に変更されるため、設定の不整合が発生しません。
- **機能**: vDS では、プライベート VLAN (PVLAN)、Cisco® NetFlow モニタリング、拡張シングルルート I/O 仮想化 (SR-IOV) など、必要ないくつかの機能に対するサポートが追加されています。また、Link Layer Discovery Protocol (LLDP) に対するサポートも追加されており、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) と共に使用することで、シスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ (Cisco ACI™) 環境の一部として、ネットワーク エンドポイントおよびポリシーを定義できるようになります。

シスコ製品とテクノロジーにすでに投資しているお客様は、テスト済みの使い慣れた Cisco UCS テクノロジーを導入することにより、さらにリスクを軽減することが可能になります。

ソリューションの要件

Cisco HyperFlex クラスタで vDS を使用するように設定するには、以下のものがが必要です。

- 正常に機能する Cisco HyperFlex クラスタ
- VMware vCenter Server アプライアンスまたは Microsoft Windows ベースの VMware vCenter Server
- Cisco HyperFlex クラスタの VMware ESXi ホストに対する VMware vSphere Enterprise Plus ライセンス

既知の制約

Cisco HyperFlex インフラストラクチャに関連する Cisco HyperFlex クラスタのネットワーク コンポーネントは、vDS に変換できません。次のネットワーク ポート グループ、VM カーネル ポート、標準 vSwitch、およびアップリンクは、デフォルトの Cisco HyperFlex 設定のままにする必要があり、分散型スイッチを使用するように変更することはできません。

- 標準 vSwitch (**vswitch-hx-inband-mgmt**)
- 標準 vSwitch (**vswitch-hx-storage-data**)
- ポート グループ (**Storage Controller Management Network** および **Storage Controller Data Network**)
- VM カーネル ポート (**Management Network** および **Storage Hypervisor Data Network**)
- ネットワーク アダプタ アップリンク (**vmnic0**、**vmnic1**、**vmnic2**、**vmnic3**)

Cisco HyperFlex ストレージ コントローラ仮想マシンでは、ゲストの仮想ネットワーク接続を分散型スイッチに移行してはいけません。**Storage Controller Management Network** および **Storage Controller Data Network** ポート グループとの接続は、変更せず、そのまま残す必要があります。

変換の手順

変換手順は 4 つの基本タスクで構成されています。分散型スイッチの作成、スイッチの設定、新規スイッチへの移行、およびテストとクリーンアップのアクティビティです。

分散型スイッチの作成

変換プロセスの最初のステップでは、標準 vSwitch を移行する分散型スイッチを作成します。このドキュメントでは、2 つの vDS が作成されます。1 つは **vswitch-hx-vm-network** という名前のデフォルトの標準 vSwitch を置き換えます。この vDS は、ゲスト仮想マシンのネットワークトラフィックを伝送します。もう 1 つは **vMotion** という名前のデフォルトの標準 vSwitch を置き換えます。vMotion のトラフィックを伝送します。2 つの vDS を作成する手順を、次に説明します。

1. Cisco HyperFlex クラスタを管理している vCenter サーバの vCenter Web クライアントを開いてログインします。
2. [vCenter インベントリ リスト (vCenter Inventory Lists)] > [分散型スイッチ (Distributed Switches)] を選択します。
3. [新しい分散型スイッチの作成 (Create a New Distributed Switch)] アイコンをクリックします (図 1)。
4. 表示されるウィザードで、新しい分散型スイッチの希望する名前を入力後、Cisco HyperFlex クラスタが存在するデータセンター オブジェクトをクリックし、[次へ (Next)] をクリックします (図 2)。たとえば、2 つの vDS を **DSwitch-VMNetworks**、**DSwitch-VMotion** という名前にします。
5. Cisco HyperFlex ホスト上で実行する VMware ESXi のバージョンに合わせて、新しいスイッチのバージョンを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。
6. アップリンクの数を 2 に設定します。ネットワーク I/O 制御は、必要に応じて有効または無効にできます。ボックスをオンにしてデフォルトのポート グループを作成し、名前を入力します。[次へ (Next)] をクリックします (図 3)。たとえば、ポート グループの名前を **DPortGroup-VMNetwork** または **DPortGroup-VMotion** とします。
7. [完了 (Finish)] をクリックします。
8. ステップ 3 ~ 7 を繰り返して、2 番目の分散型スイッチを作成します。

図 1. 分散型スイッチの追加

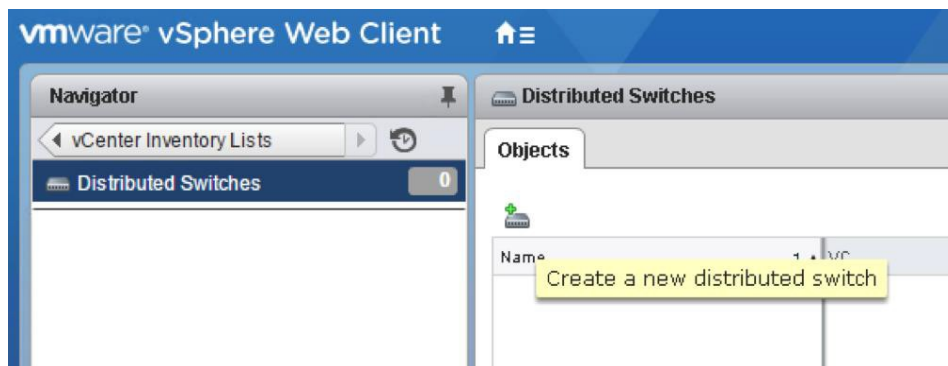


図 2. 分散型スイッチの名称設定

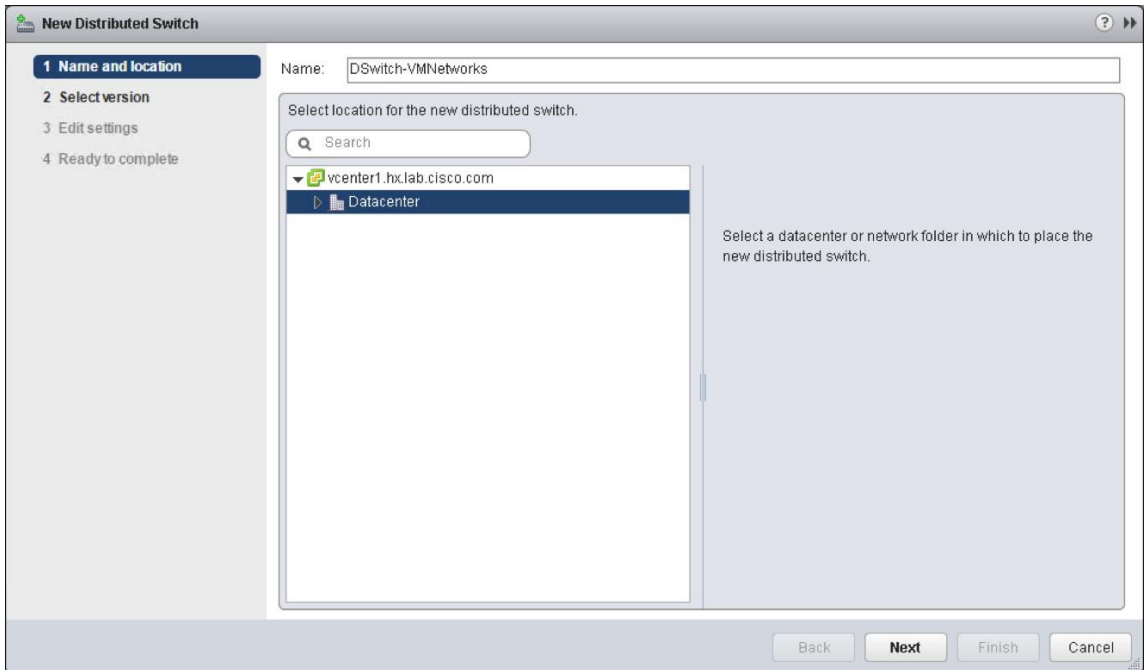
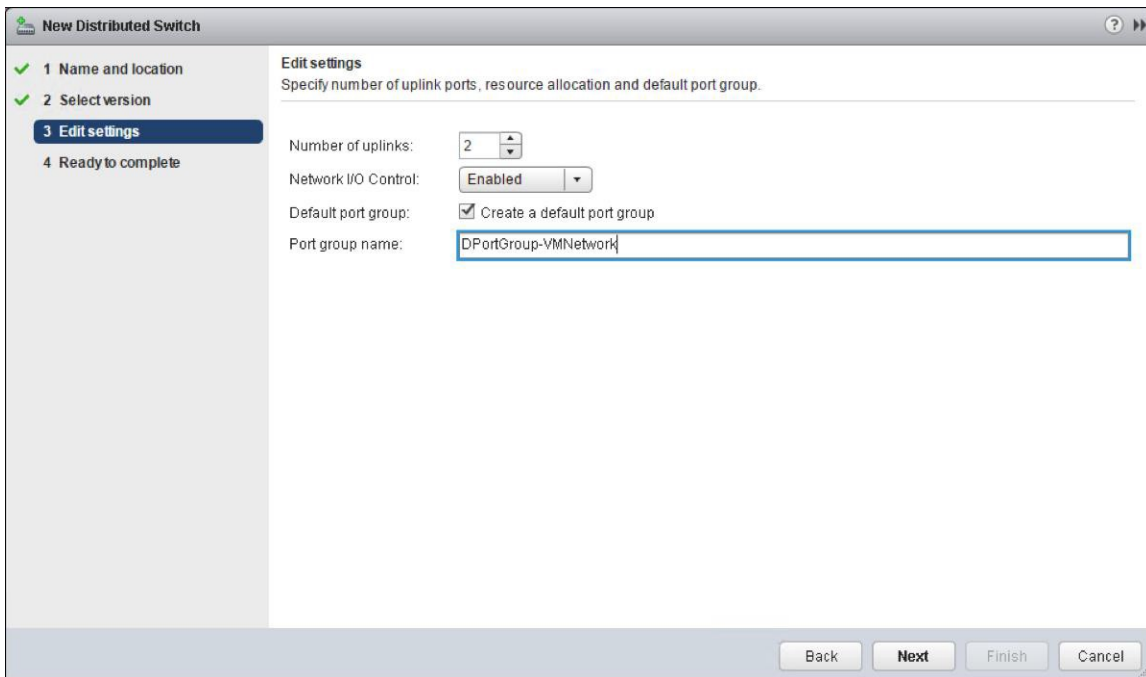


図 3. 分散型スイッチの設定



仮想マシン ゲスト分散型スイッチの設定

多くの場合、分散型スイッチ ウィザードからの基本設定だけでは、ゲスト仮想マシンのすべてのネットワーク ニーズを満たすことはできません。すべてのゲスト仮想マシンのトラフィックにタグなしポート グループが 1 つしか使用されていない場合は、追加設定は不要で、このセクションで示す手順を無視してもかまいません。

ただし、ゲスト仮想マシンのトラフィックが複数の VLAN に分散されている場合は、複数のポート グループを作成し、それぞれにポート グループが使用する VLAN ID を設定する必要があります。追加のポート グループを作成する前に、Cisco UCS Manager で設定手順を行って必要な VLAN ID を作成し、仮想ネットワーク インターフェイス カード (vNIC) テンプレートに追加する必要があります。これらの手順は、[付録 A](#) および [付録 B](#) に記載しています。

分散型スイッチを設定するには、次の手順を実行します。

1. vCenter の Web クライアントで、[vCenter インベントリ リスト (vCenter Inventory Lists)] > [分散型スイッチ (Distributed Switches)] を選択します。
2. 仮想マシンのトラフィック用に作成された分散型 vSwitch をクリックします。
3. 右側のペインで、[管理 (Manage)] タブをクリック後、[設定 (Settings)] をクリックして、[トポロジ (Topology)] メニュー項目を選択します。
4. 追加のポート グループを作成するには、[新しい分散型ポート グループの作成 (Create a New Distributed Port Group)] をクリックします。追加のポート グループが不要の場合、ステップ 9 に進みます (図 4)。
5. ポート グループの名前を入力して [次へ (Next)] をクリックします。ベスト プラクティスとして、名前に VLAN ID 番号を含めることをお勧めします (図 5)。
6. 必要に応じて VLAN のタイプと数を変更します。[次へ (Next)] をクリックします (図 6)。たとえば、VLAN 100 の標準のタグ付きポート グループでは、[VLAN のタイプ (VLAN type)] を [VLAN] に変更し、[VLAN ID] に **100** を入力します。
7. [完了 (Finish)] をクリックします。
8. 必要な追加ポート グループごとに手順 4 ~ 7 を繰り返します。
9. 既存のポート グループの設定を変更するには、ポート グループ名をクリックし、[分散型ポート グループ設定の編集 (Edit Distributed Port Group Settings)] アイコンをクリックします (図 7)。
10. 必要に応じて名前と VLAN 設定を編集します。[OK] をクリックします (図 8)。たとえば、VLAN 101 の標準のタグ付きポート グループでは、[VLAN のタイプ (VLAN type)] を [VLAN] に変更し、[VLAN ID] に **101** を入力します。VLAN ID 番号を含めるようにポート グループの名前を変更します。
11. 変更が必要な分散型ポート グループごとに手順 9 および 10 を繰り返します。

図 4. 追加のポートグループの作成

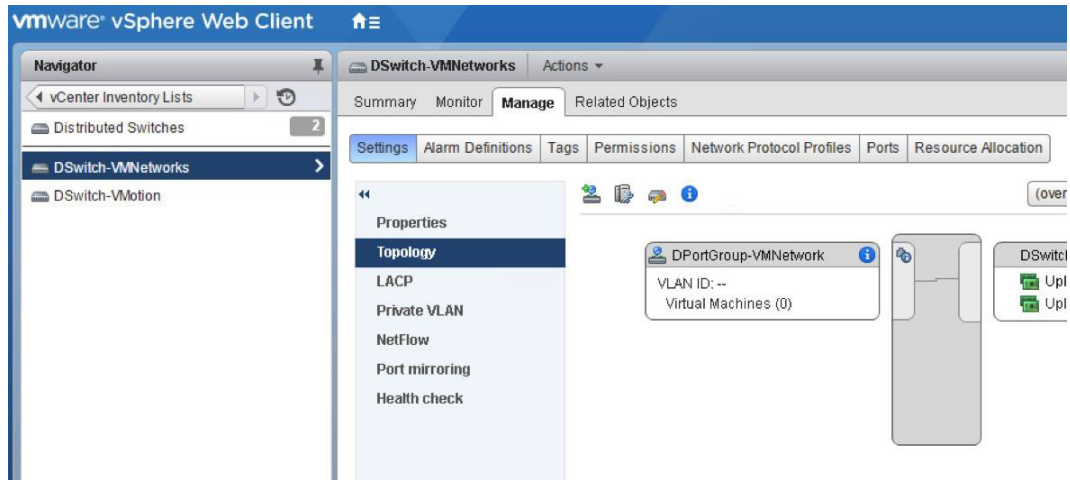


図 5. ポートグループ名

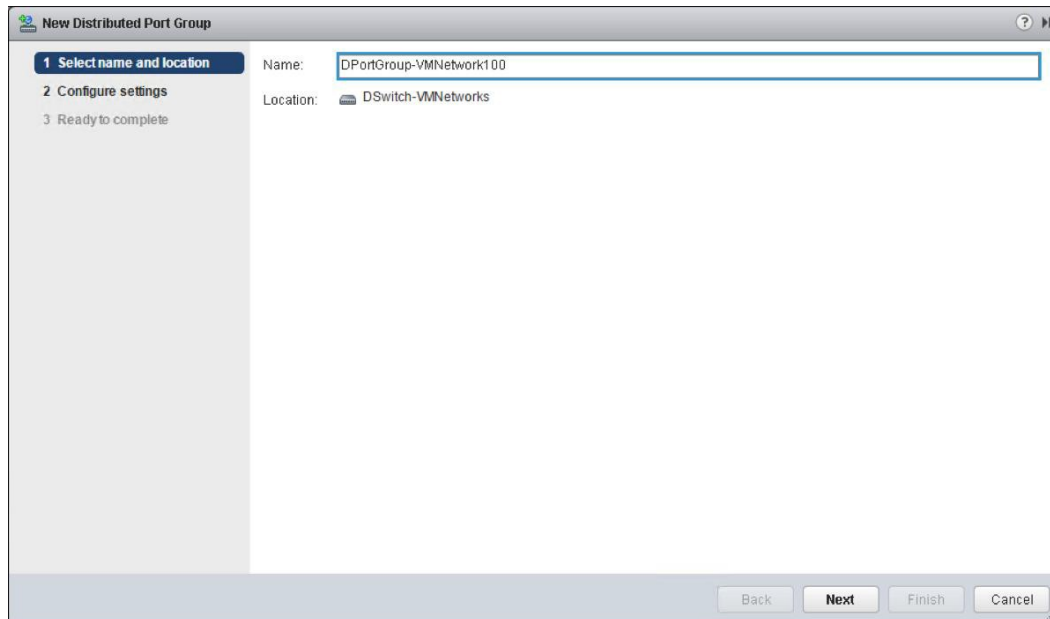


図 6. ポートグループの設定

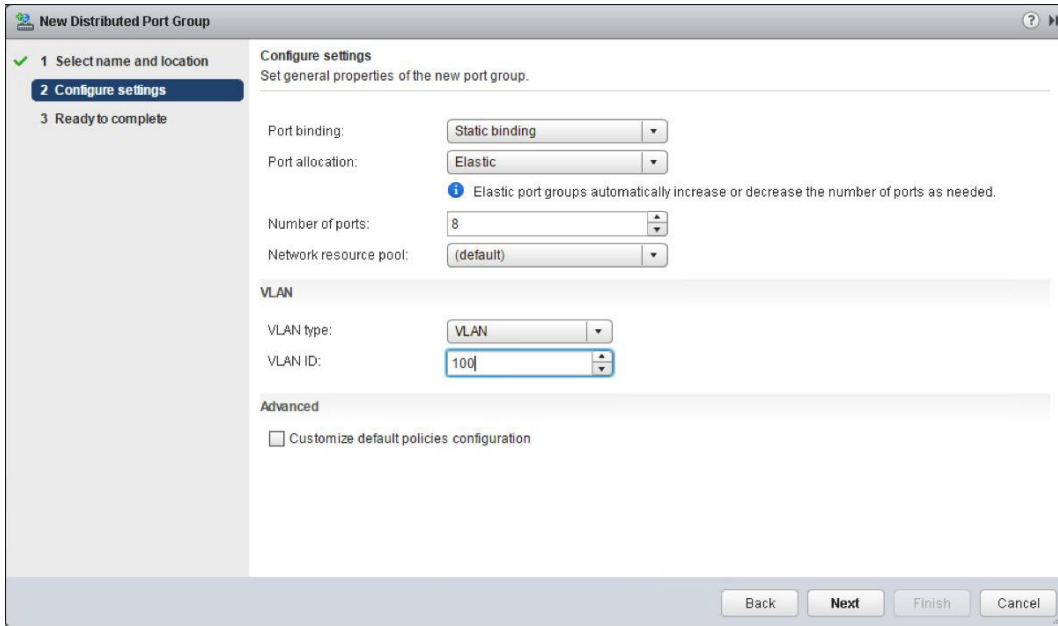


図 7. ポートグループの編集

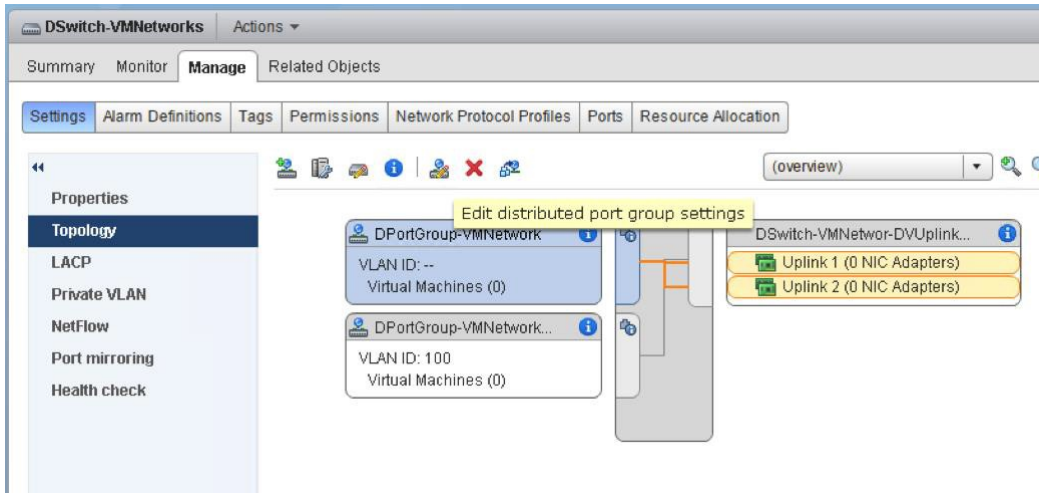
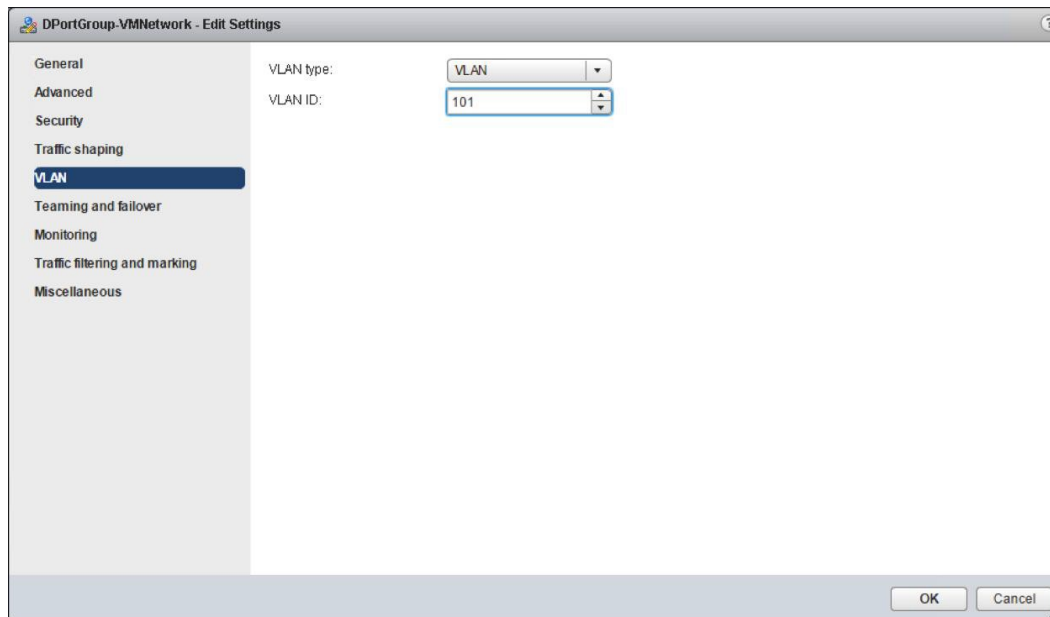


図 8. ポートグループの VLAN 設定



VMotion 分散型スイッチの設定

分散型スイッチ ウィザードからの基本設定だけでは、vMotion のすべてのネットワーク ニーズを満たすことはできません。ジャンボ フレームが vMotion ネットワークを通過し、アップリンク フェールオーバーの順序を変更できるように、修正する必要があります。分散型スイッチを設定するには、次の手順を実行します。

1. vCenter の Web クライアントで、[vCenter インベントリ リスト (vCenter Inventory Lists)] > [分散型スイッチ (Distributed Switches)] を選択します。
2. vMotion のトラフィック用に作成された分散型 vSwitch をクリックします。
3. 右側のペインで、[管理 (Manage)] タブをクリック後、[設定 (Settings)] をクリックして、[プロパティ (Properties)] メニュー項目を選択し、[編集 (Edit)] ボタンをクリックします。
4. [詳細 (Advanced)] メニュー項目を選択後、最大伝送ユニット (MTU) の値を **9000** に変更し、[OK] をクリックします (図 9)。
5. [トポロジ (Topology)] メニュー項目を選択後、vMotion ポート グループ名をクリックし、[分散型ポート グループ設定の編集 (Edit Distributed Port Group Settings)] アイコンをクリックします。
6. [チームングとフェールオーバー (Teaming and Failover)] メニュー項目を選択して [アップリンク 2 (Uplink 2)] を強調表示し、下向きの青い矢印をクリックして、[アップリンク 2 (Uplink 2)] を [スタンバイ アップリンク (Standby uplinks)] の下に移動します。[OK] をクリックします (図 10)。

図 9. vMotion の MTU 値の編集

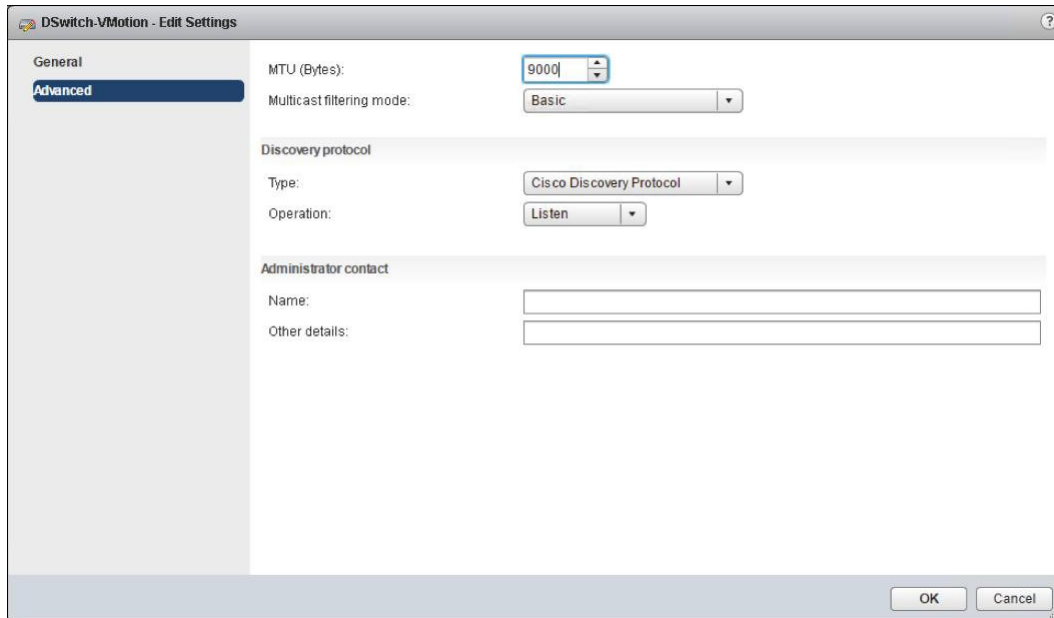
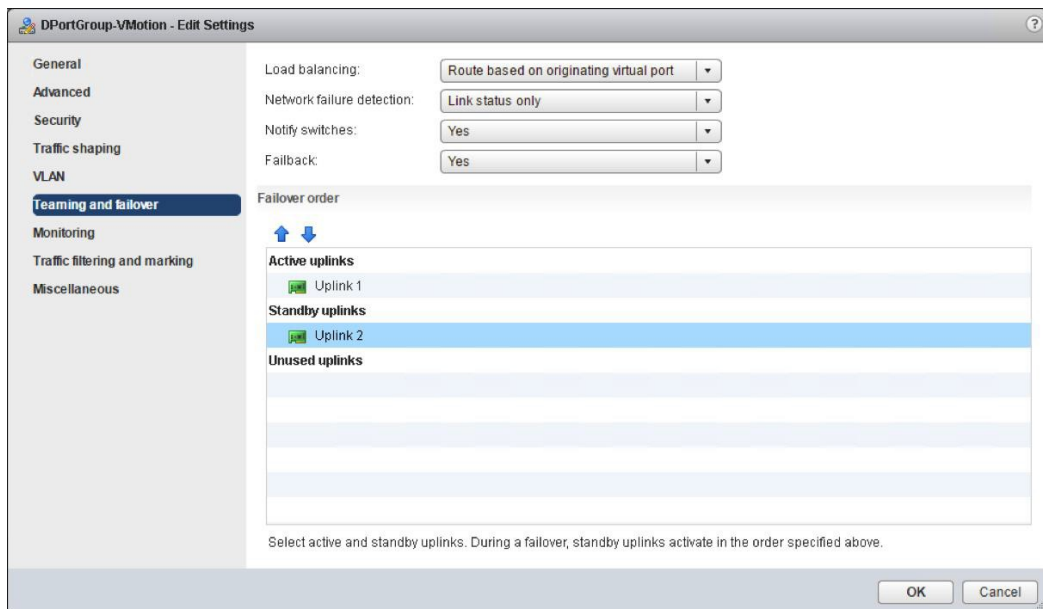


図 10. vMotion のフェールオーバー順序の編集



仮想マシン ゲスト分散型スイッチへの移行

ネットワークを新しい分散型スイッチに移行するには、次の手順を実行します。

1. vCenter の Web クライアントで、[vCenter インベントリ リスト (vCenter Inventory Lists)] > [分散型スイッチ (Distributed Switches)] を選択します。
 2. ゲスト仮想マシンのネットワークトラフィック用に作成された分散型 vSwitch をクリックします。
 3. 右側のペインで、[管理 (Manage)] タブをクリック後、[設定 (Settings)] をクリックして、[トポロジ (Topology)] メニュー項目を選択します。
 4. [この分散型スイッチにホストを追加し、物理/仮想ネットワーク アダプタを移行する (Add Hosts to This Distributed Switch and Migrate Physical or Virtual Network Adapters)] アイコンをクリックします (図 11)。
 5. [ホストの追加 (Add Hosts)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
 6. [新しいホスト (New Hosts)] をクリックし、移行する Cisco HyperFlex クラスタのホストを選択して、[OK] をクリックします (図 12)。
 7. [複数のホストで同じネットワーク設定を行う (Configure Identical Network Settings on Multiple Hosts)] ボックスをオンにし、[次へ (Next)] をクリックします。
 8. Cisco HyperFlex クラスタで、以前選択したすべてのホストに対して行った変更のテンプレートの役割を果たすホストを 1 つ選択します。[次へ (Next)] をクリックします。
 9. [物理アダプタの管理 (Manage Physical Adapters)] ボックスと [仮想マシンネットワークの移行 (Migrate Virtual Machine Networking)] ボックスをオンにします。[次へ (Next)] をクリックします (図 13)。
 10. 上部ペインで、テンプレート ホストのアップリンク [vmnic4] および [vmnic5] が表示されるまで、下にスクロールします。[vmnic4] をクリックし、[アップリンクの割り当て (Assign Uplink)] ボタンをクリックします。
 11. [vmnic4] に [アップリンク 1 (Uplink 1)] を選択し、[OK] をクリックします。
 12. 手順 10 および 11 を繰り返しますが、今度は [vmnic5] と [アップリンク 2 (Uplink 2)] を選択します。
 13. vmnic4 と vmnic5 がテンプレート ホストに正しく再割り当てられていることを確認します。[すべてに適用 (Apply to All)] ボタンをクリックし、[次へ (Next)] を 2 回クリックします (図 14)。
 14. ネットワーク接続を移行する各仮想マシンをクリックし、[ポート グループの割り当て (Assign Port Group)] ボタンをクリックします。複数の仮想マシンを選択するには、Ctrl を押しながら同時にマウス ボタンをクリックし、選択後 [ポート グループの割り当て (Assign Port Group)] ボタンをクリックします。
- 注:** Cisco HyperFlex コントローラの仮想マシンのネットワークは移行しないでください。
15. 新しいスイッチの仮想マシンで使用する分散型ポート グループの名前をクリックし、[OK] をクリックします (図 15)。
 16. すべての仮想マシンが分散型スイッチの新しいポート グループに割り当てられるまで、手順 14 および 15 を繰り返します。[次へ (Next)] をクリックします (図 16)。
 17. [完了 (Finish)] をクリックします。

図 11. vDS へのホストの追加

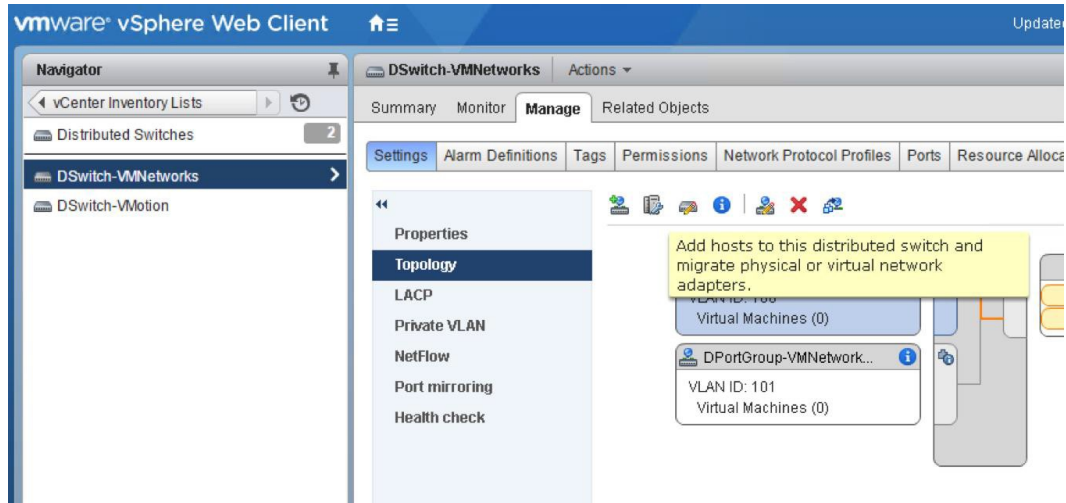


図 12. ホストの選択

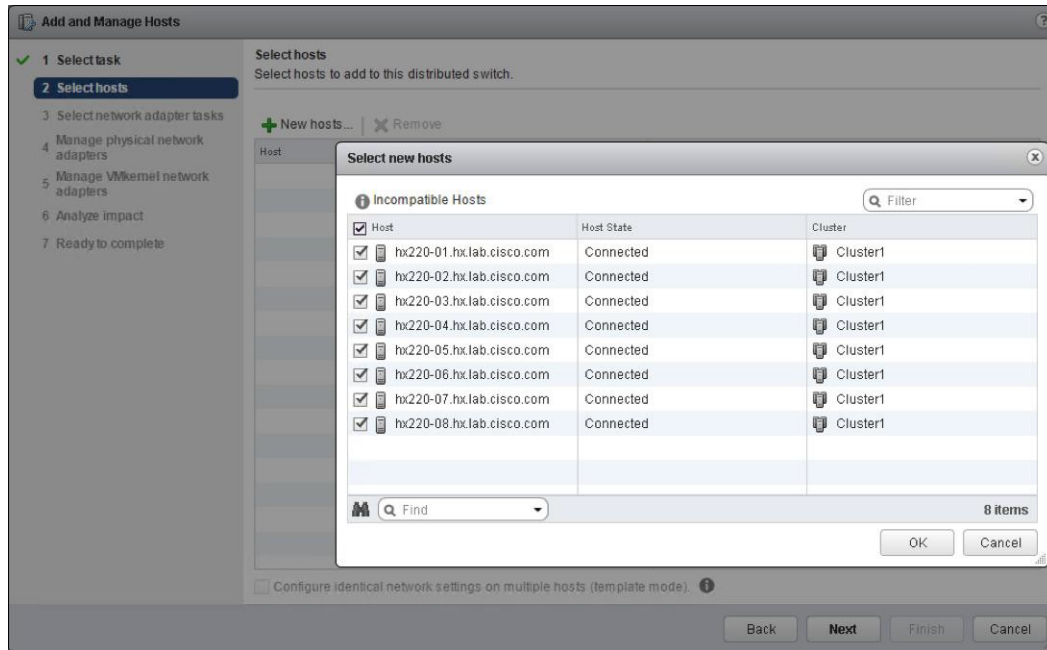


図 13. アダプタおよび仮想マシン ネットワーキングの移行

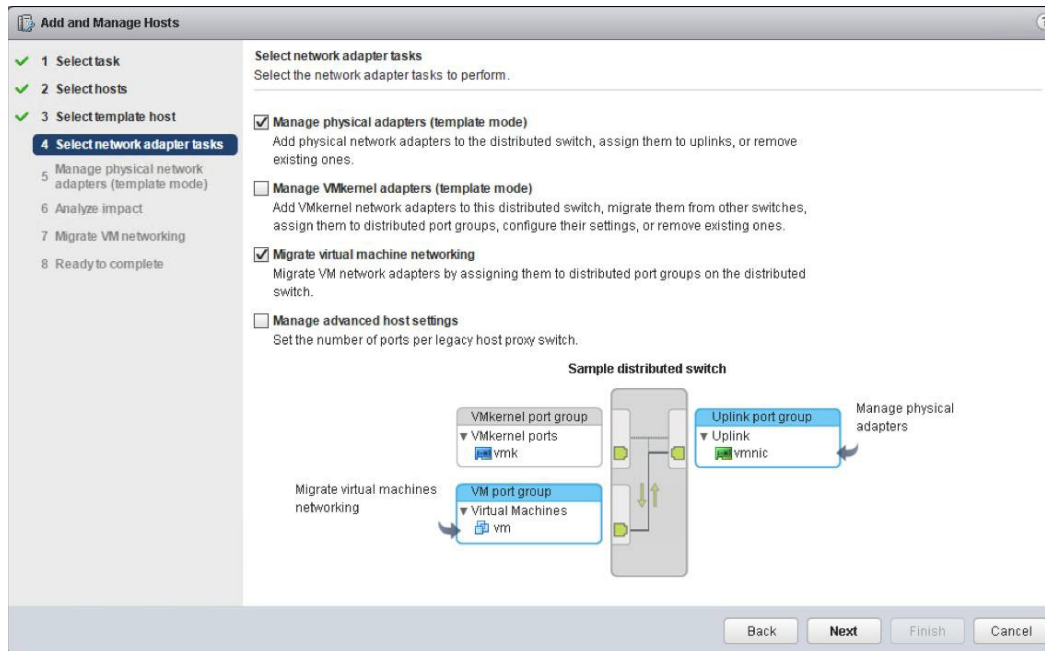


図 14. 物理アダプタの管理

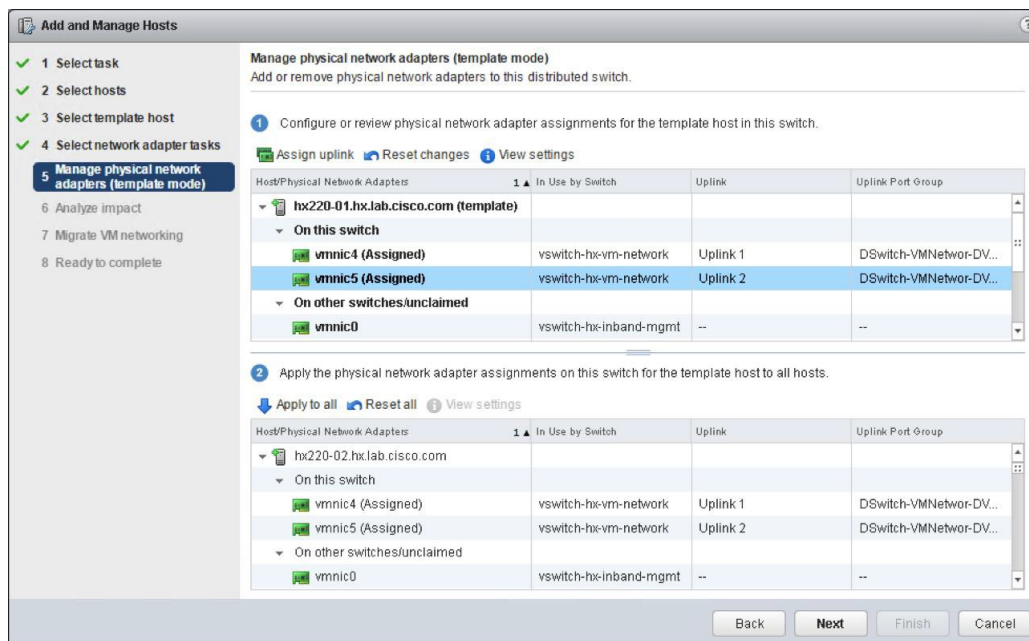


図 15. 仮想マシン ネットワークの選択

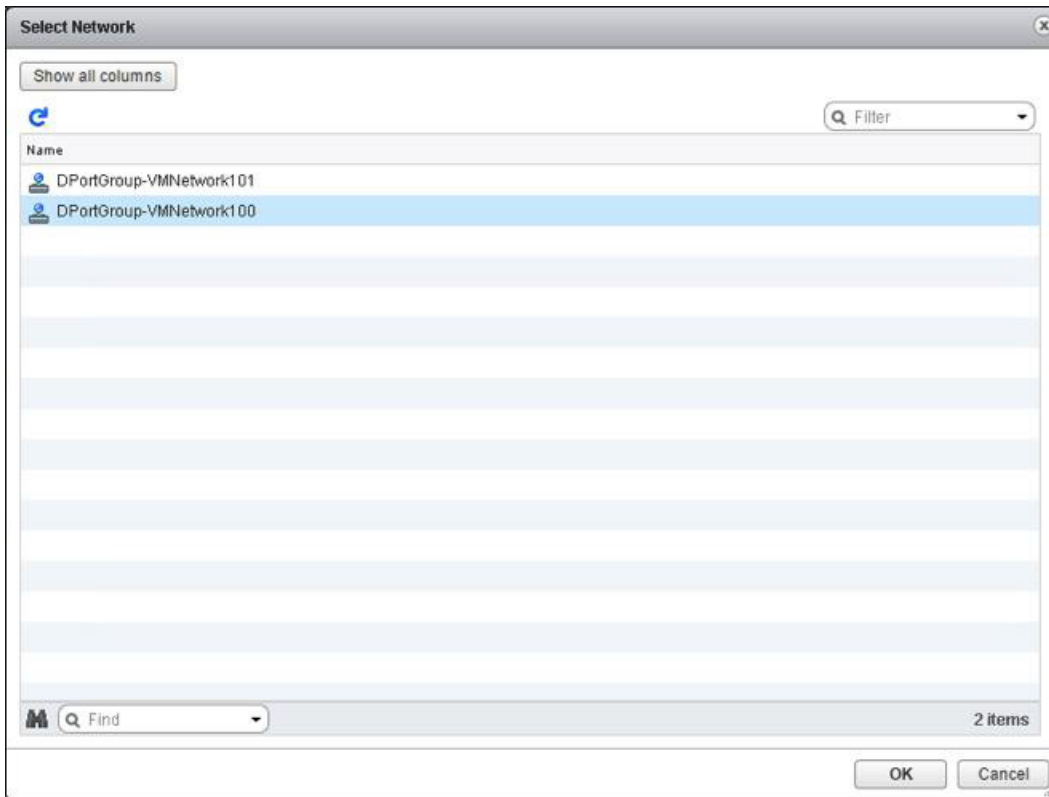
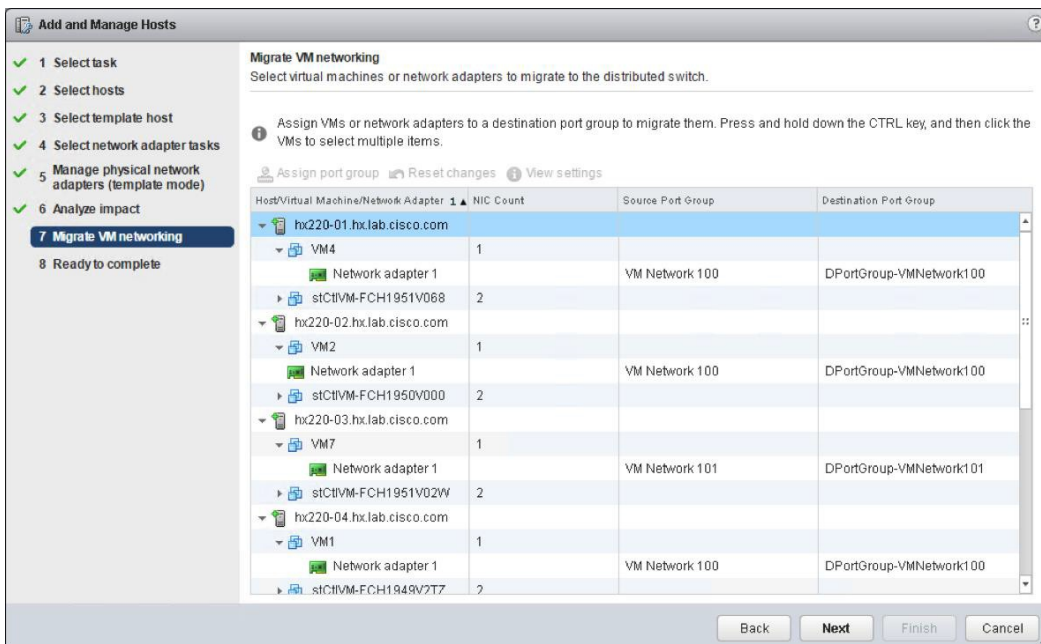


図 16. 仮想マシン ネットワーキングの移行



VMware vMotion 分散型スイッチへの移行

ネットワークを新しい分散型スイッチに移行するには、次の手順を実行します。

1. vCenter の Web クライアントで、[vCenter インベントリ リスト(vCenter Inventory Lists)] > [分散型スイッチ (Distributed Switches)] を選択します。
2. vMotion のトラフィック用に作成された分散型 vSwitch をクリックします。
3. 右側のペインで、[管理(Manage)] タブをクリック後、[設定 (Settings)] をクリックして、[トポロジ(Topology)] メニュー項目を選択します。
4. [この分散型スイッチにホストを追加し、物理/仮想ネットワーク アダプタを移行する (Add Hosts to This Distributed Switch and Migrate Physical or Virtual Network Adapters)] アイコンをクリックします。
5. [ホストの追加 (Add Hosts)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
6. [新しいホスト (New Hosts)] をクリックし、移行する Cisco HyperFlex クラスタのホストを選択して、[OK] をクリックします。
7. [複数のホストで同じネットワーク設定を行う (Configure Identical Network Settings on Multiple Hosts)] ボックスをオンにし、[次へ (Next)] をクリックします。
8. Cisco HyperFlex クラスタで、以前選択したすべてのホストに対して行った変更のテンプレートの役割を果たすホストを 1 つ選択します。[次へ (Next)] をクリックします。
9. [物理アダプタの管理 (Manage Physical Adapters)] ボックスと [VM カーネル アダプタの管理 (Manage VMkernel Adapters)] ボックスをオンにします。[次へ (Next)] をクリックします (図 17)。
10. 上部ペインで、テンプレート ホストのアップリンク [vmnic6] および [vmnic7] が表示されるまで、下にスクロールします。[vmnic6] をクリックし、[アップリンクの割り当て (Assign Uplink)] ボタンをクリックします。
11. [vmnic6] に [アップリンク 1 (Uplink 1)] を選択し、[OK] をクリックします (図 18)。
12. 手順 10 および 11 を繰り返しますが、今度は [vmnic7] と [アップリンク 2 (Uplink 2)] を選択します。
13. vmnic6 と vmnic7 がテンプレート ホストに正しく再割り当てられていることを確認します。[すべてに適用 (Apply to All)] ボタンをクリックし、[次へ (Next)] をクリックします (図 19)。
14. vMotion のトラフィックに割り当てられた VM カーネル ポートをクリックし、[ポート グループの割り当て (Assign Port Group)] ボタンをクリックします。
15. 新しいスイッチの vMotion で使用する分散型ポート グループの名前をクリックし、[OK] をクリックします (図 20)。
16. VM カーネル ポートがテンプレート ホストに正しく再割り当てられていることを確認します。次に、[すべてに適用 (Apply to All)] ボタンをクリックします。
17. カンマ区切りのリストを使用して、vMotion の VM カーネル ポートが追加ホストに使用する IP アドレスを入力します。次に [OK] をクリックします。
18. [次へ (Next)] を 2 回クリックします。次に、[完了 (Finish)] をクリックします。

図 17. アダプタおよび VM カーネル アダプタの移行

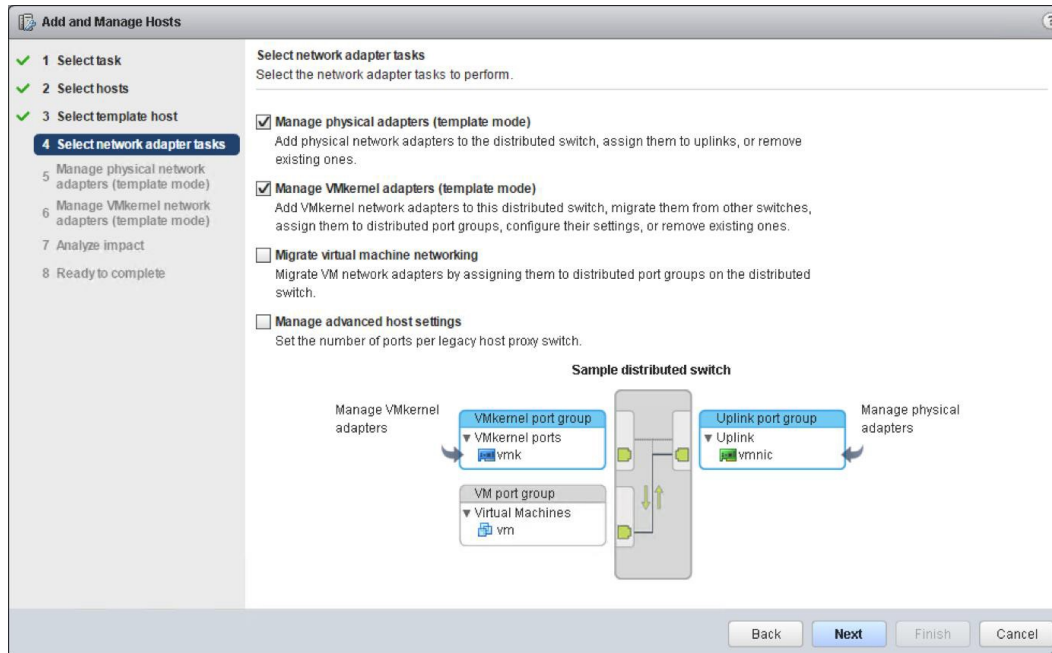


図 18. アップリンクの設定

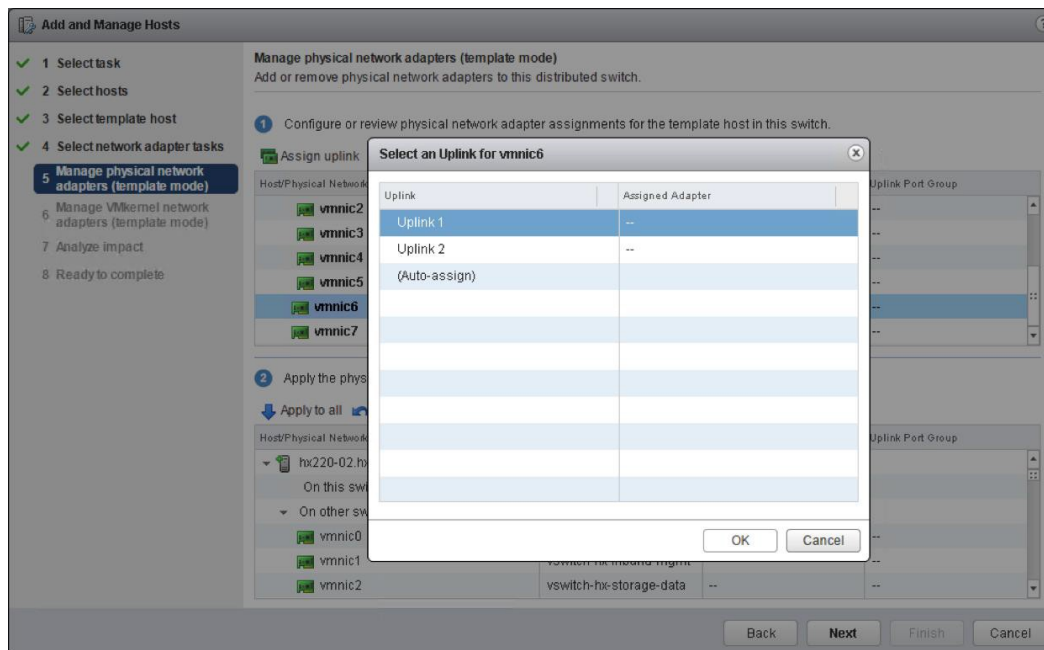


図 19. アップリンクの割り当て

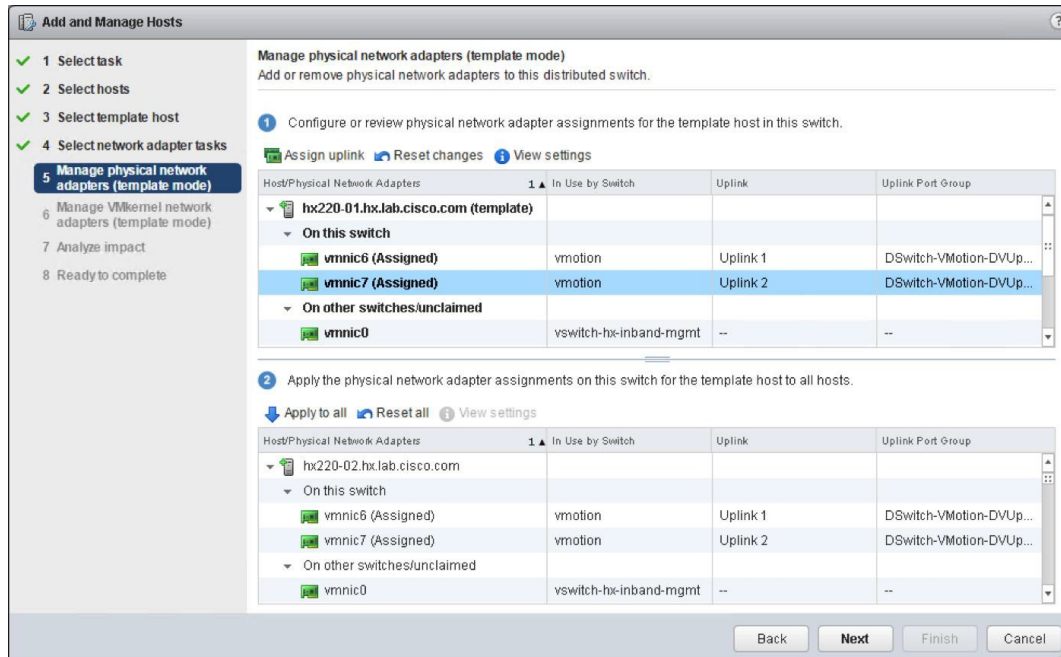
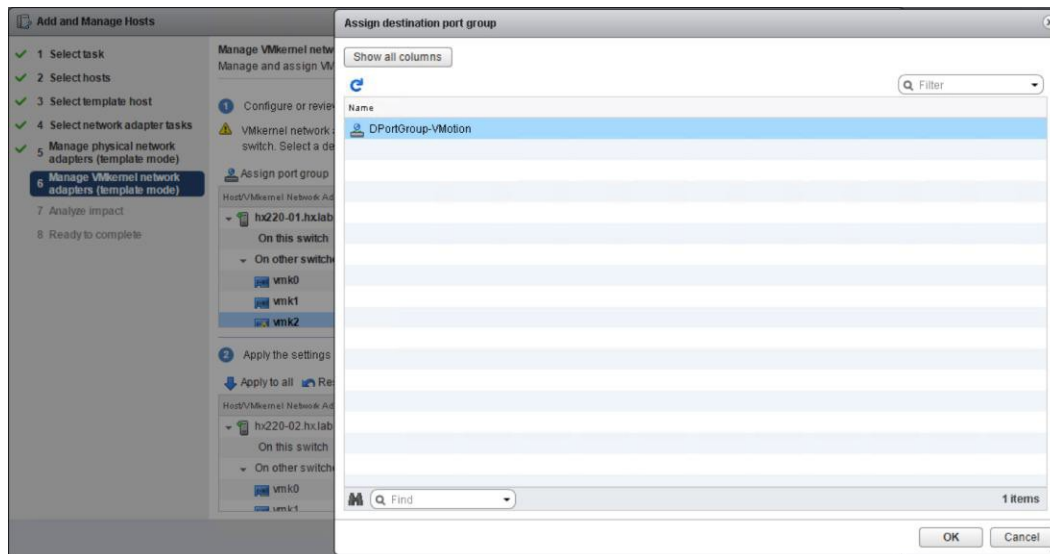


図 20. ポートグループの割り当て



テストとクリーンアップ

移行後、ホストで仮想マシンの vMotion 移行をテストし、すべてが正常に機能していることを確認します。適切なネットワーク サブネットおよび VLAN で、ゲスト仮想マシンとのネットワーク接続を確認します。通常、仮想マシンに連続 ping を送信すると、移行プロセス中に ping が 1 回損失すればわかります。

移行が完了したら、Cisco HyperFlex のホストから、ゲスト仮想マシンのトラフィックおよび vMotion 用の元の標準 vSwitch (**vswitch-hx-vm-network** と **vmotion**) を削除できます。未使用の標準 vSwitch を削除するには、次の手順を実行します。

1. vCenter の Web クライアントで、[ホストおよびクラスター(Hosts and Clusters)] を選択します。
2. ナビゲーション ツリーの最初の Cisco HyperFlex プラットフォームの ESXi ホストをクリックします。
3. 右側のペインで、[管理(Manage)] タブをクリック後、[ネットワークング(Networking)] をクリックして、[仮想スイッチ(Virtual Switches)] メニュー項目を選択します。
4. リストの **vswitch-hx-vm-network** という標準 vSwitch をクリックします。次に、[選択した標準スイッチを削除(Remove Selected Standard Switch)] アイコンをクリックします。
5. [はい(Yes)] をクリックして、スイッチを削除します。
6. **vmotion** という vSwitch に対して、手順 3 ~ 5 を繰り返します。
7. Cisco HyperFlex クラスター内の残りのホストに対して、手順 2 ~ 6 を繰り返します。

vCenter には、仮想マシン ゲスト スイッチの移行プロセス中に生成された多数のアラームが表示されます。これらのアラームは消去しても差し支えありません。

まとめ

シスコ ソリューションは、確立された使用例に合わせて、Cisco HyperFlex クラスターで VMware 分散型仮想スイッチを使用できるようにすることにより、多くの企業のデータセンターのニーズに対応します。このソリューションを採用することにより、Cisco HyperFlex システムは、vDS が提供する機能を活用しながら、Cisco Technical Assistance Center (TAC) の完全なサポートも引き続き受けることができます。

関連情報

シスコ オンライン サポートで入手可能な以下のドキュメンテーションから、さらに関連情報を参照できます。ドキュメンテーションにアクセスできない場合は、シスコの担当者までお問い合わせください。

Cisco HyperFlex テクニカル サポート ドキュメンテーション:

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/hyperconverged-systems/hyperflex-hx-data-platform-software/tsd-products-support-series-home.html> [英語]

付録 A: 追加の仮想マシン ゲスト VLAN の設定

Cisco HyperFlex Systems では多くの場合、ゲスト仮想マシンが通信に使用する VLAN ID を複数設定する必要があります。追加の VLAN が必要な場合、VLAN を vNIC テンプレートに追加する前に Cisco UCS Manager で定義する必要があります。また、ESXi ホストのネットワーク ポート グループの一部として設定することも必要です。ゲスト仮想マシンのトラフィック用に追加の VLAN を設定するには、次の手順を実行します。

1. Cisco UCS Manager のナビゲーション ウィンドウで [LAN] タブをクリックします。
2. [LAN] > [LAN クラウド(LAN Cloud)] > [VLANs] の順に選択します。
3. [VLANs] を右クリックし、[VLAN の作成(Create VLANs)] を選択します。
4. VLAN の名前を入力します。
5. **HyperFlex** というマルチキャスト ポリシーを選択します。
6. [共通/グローバル(Common/Global)] の設定はそのままにします。
7. VLAN ID 番号を入力します。

8. [共有タイプ(Sharing Type)] は [なし(None)] のままにします。
9. [OK] を 2 回クリックします。
10. 必要な追加 VLAN ごとに手順 3 ~ 9 を繰り返します。

付録 B: タグ付き VLAN 用の代替設定

デフォルトの Cisco HyperFlex インストーラでは、Cisco UCS 設定に、仮想マシンのトラフィック用の VLAN が 1 つだけ定義されます。多くの場合、複数の VLAN を使用してゲスト仮想マシンのトラフィックを伝送し、お客様のデータセンターで設定されている標準では、すべての仮想マシンのトラフィックが適切な IEEE 802.1Q VLAN ID でタグ付けされる必要があります。この要件を満たすために、最初に Cisco UCS 設定を変更する必要があります。複数のタグ付き VLAN を伝送するように Cisco UCS の設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. Cisco UCS Manager のナビゲーション ウィンドウで [LAN] タブをクリックします。
2. [LAN] > [ポリシー(Policies)] > [ルート(root)] > [サブ構成(Sub-Organizations)] > [hx-cluster] > [vNIC テンプレート(vNIC Template)] の順に選択します。
3. **vm-network-a** という vNIC テンプレートをクリックします。
4. 設定ペインで、[VLAN の変更(Modify VLANs)] をクリックします。
5. [VLAN の変更(Modify VLANs)] ウィンドウで、[ネイティブ VLAN(Native VLAN)] カラムのオプション ボタンがすべてオフになっていることを確認します。
6. [VLAN の変更(Modify VLANs)] ウィンドウで、ゲスト仮想マシンのトラフィックをタグ付けして vDS に伝送する各 VLAN の隣の [選択(Select)] ボックスをクリックします。
7. [OK] をクリックします。
8. **vm-network-b** という vNIC テンプレート(タグ付けされたゲスト仮想マシンのトラフィックを伝送する)に対して、手順 3 ~ 7 を繰り返します。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2016 年 12 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先